

福島県支部協総会 10月27日に決定

第2回地区協代表者会議(6月3日)で提出議案説明
気軽に参加できる場の提供を通して地区協の活性化を図ろう!

第二回(拡大)地区協代表者会議は六月三日、二本松市の県男女共生センターで開催しました。

冒頭、伏見会長から各地区協の日常活動に対するお礼と、組織の現状について挨拶されました。



引き続き執行部より会議の議題について説明があり、今後の進め方について協議しました。

主な会議の内容は次の通り。

一、「吉川さおり」終盤の取り組み

1. 紹介者への対応

個人名での投票のお願い

2. 会員への対応

個人名での投票、棄権防止の呼びかけ及び文書等の

送付

二、第二十七回総会の日程等について

1. 開催日

十月二十七日(月)

退

県協ニュース

第49号

NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者●伏見 吉弘
印刷●陽光社印刷株式会社



第一部 総会

第二部 顧問弁護士による勉強会

2. 議案提案予定の主な内容を県協ニュースで会員へ周知します。

3. 議案書配布方法について
① ダイジェスト版を県協ニュースに掲載し配布します。

② これまでどおり全員配布とし、ダイジェスト版も作成します。

三、事務局体制について

中小地区協からの副会長の登用については、第二十七回総会で確認します。

四、「会員動向調査・高齢者会員の対応」の取り組み状況について

地区協の取り組み状況の報告と、今後の対応について確認しました。

五、県協ニュース発行月の変更

これまで十月に発行してきた県協ニュースを、地区協の総会開催案内に間に合うよう九月に発行します。

会員とご家族の皆さん ご支援ありがとうございました！ 吉川さおり 見事4回目の当選を勝ち取る！

第二十七回参議院選挙は、物価高対策に無策の石破政権に不信任を突きつける、事実上の政権選択選挙と位置づけた戦いでした。

立憲民主党は参院選約で食料品の消費税ゼロをはじめ「コメ政策の抜本的な見直し」「ガソリン暫定税率を廃止」等、生活目線の政策を全国各地で訴えました

全国三十二の一人区で自民党は半減の十四、立憲民主党は六増の八、国民

民主党は二増の三、無所属六増の七と、大きく勝ち越す結果となりました。

自民、公明両党は議席を大幅に減らし、「民意は石破内閣に不信任を突きつけた」形となり、衆議院に続き参議院でも少数与党になりましたが、参政党の躍進によ



り、今後の政治情勢は予断を許さない状況になると考えます。

比例代表区では組織内候補の「吉川さおり」は現・退一致のもと、厳しい選挙戦を戦い抜き、一万六三三四票(福島県一六三四票)を獲得し、見事四選を果たしました。

各種取り組みにご支援・ご協力を頂いた全地区協会員とご家族に心から感謝申し上げます。

第27回福島県支部協 総会議案の骨子

十月二十七日開催の県支部協総会に提案する次期一年間の取り組みの骨子を前もってお知らせします。

一、会員拡大の取り組み

全国的に加入率が昨年に引き続き五十%を下回り、深刻な課題になっています。

福島県協の年間新規加入者は三十一名（遺族の方の入会十二名含む・三月末退職者二十三名の内、十五名が加入）でした。

今後も現役組合員の減少、働き方が大きく変化したことや、会員の高齢化による任意脱退の増加など想定されます。

グループ連絡会と連携し、退職者の全員加入をめざします。

二、事務局体制について

中小地区協から副会長を選出し、副会長五名体制とします。

具体的任務は、女性活動と中小地区協支援とします。

三、会員とのコミュニケーションの充実強化について

支部協議会と地区協議会の連携については、拡大地区協代表者会議等を開催し、諸課題に意識合わせを行うとともに、支部協メーリ

ングリストに登録されている役員には「事務局だより」を利用し、随時情報を発信します。

支部協においては、県協ニュースに会員から寄せられた趣味・地域活動および地区協だよりで地区協の活動状況等を紹介することとします。

コミュニケーションツールとして、昨年五月に開設した支部協ホームページを活用し、情報発信に取り組んでいます。

地区協においては、ニュース・会報等の発行およびレク行事などを通じて、会員との交流を図ることとします。

四、現・退一致の取り組みについて

第二十七回参議院選挙の取り組みと選挙結果を掲載

五、ジェンダー平等の取り組みについて

女性の活動を広げる取り組みとして、地区協三役等への積極的な登用をすすめることとし、具体的目標を、現在地区協女性役員二十三名を三十名とします。

なお、具体的内容については、第三回（拡大）地区協代表者会議で説明し、確認することとします。



雨の中全国環境一斉行動を実施！ 郡山市 “開成せせらぎこみち” 周辺を清掃

5月17日(土)情報労連福島県協議会は、NTT労組福島県グループ連絡会と共催し、「情報労連全国環境一斉行動」を実施しました。

組合員・退職者の会とその家族31名が参加し、

あいにくの雨模様でしたが、須田議長の挨拶を皮切りに、環境保護を目的とした郡山市「開成せせらぎこみち」周辺のごみ収集や水路清掃を行いました。声を掛け合いながら楽しく活動し、心地良い汗を流しました。

退職者の会県支部協議会からは、現地の郡山地区協議会が代表し、会員とご家族6名が参加されました。悪天候の中大変ご苦労様でした。



荒天の中和気あいあいと楽しく活動された皆さん（最前列右端高山会長）



全国交流集会参加報告（東京）

いわき地区協議会

事務局長 薄井 伸彦

昨年十一月、いわき地区協議会に於いて「事務局長」の任を受け、六月十七日から二日間で開催された退職者の会新任役員研修となる「二〇二四年度全国交流集会」に参加させて頂きました。

■全国の仲間と意見交換

会は、小宮副会長の司会で「東京は全国の会員の皆さんを熱く迎えてくれました」で始まり、川辺会長からは、①新任のつもりで交流して頂きたい。②分散会毎の親睦と支部協（地区協）の現状を報告頂き、i 会員の高齢化、ii 現役六十五歳勤務、iii 役員担い手不足の課題について対話を深めてほしいと挨拶がありました。



川辺会長と（右端が薄井さん）

また、退職者の会の概要と当面の課題として「退職者の会の歩みについて」と、スローガンは「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに活動しよう！との説明を頂きました。NTT労組中澤副委員長からは、「現・退一致の取り組みを推進」との挨拶を受けました。

■吉川さおり議員が決意表明

吉川さおり組織内議員より

- ① いつ鉄道、飛行機が止まる（遅れる）か分からない。今日も東北新幹線がストップした。
- ② 分断を煽ることが正当化の社会から、支え合い分かち合う社会へ
- ③ 野党の多様化
- ④ 子供の人口減に伴う社会制度等について決意表明を受けました。

■朝日新聞編集委員の特別講演

高橋純子（朝日新聞編集委員）さんより「政治を私たちのものとするために」の特別講演は、総理大臣の番記者の経験話からの、人間は弱い

「議員を先生と呼ばない」など先人（先輩）たちの慣習がルールとして記者を続ける中で大切なことを学んだ。

今、「目立ちたくない・質問後怖い・批判されたくない」の社会にされてきていますが、「伝える等どんな状況でも前進しよう！」と講義を受けました。

■分散会で意見交換

最後に肝心な退職者の会活動ですが、私は「地区協役員」の分散会でした。

会員の高齢化の中、今日の詐欺問題から「知らない電話（携帯も）には出ない」傾向が多いので、電話・手紙・訪問で動向把握する取り組みがなされています。

参加者の減少化であるが、旅行・レク活動の取り組みから会員間の交流を図っている、元気ある全国の地区協の現状を知ることができ、有意義な全国集会でした。



郡山地区協議会

幹事 福眞 信子

令和七年六月十七日～十八日の日程で開催されたNTT労組全国交流集会に参加してきました。ジェンダー平等の観点から各県男女一各ずつの参加でした。一日目の朝日新聞編集委員の高橋純子さんの特別講演では、総理番記者時代のエピソードをユニークにお話して頂きました。二日目は全体が七グループに分かれ、

各地区協の取り組みや悩み等を話し合いました。静岡の幹事の方から東日本大震災の時、郡山自衛隊の駐車場を起点に県内の復興支援に携わったこと等を聞きました。この交流会に参加してNTT退職者の会の絆のすばらしさを改めて実感しました。皆さんも全国交流会のような場を経験して頂きたいと思います。



貴重な経験でしたと福眞さん（左側）

無料法律相談

- ためらわずにご連絡ください。遠方の方は電話でも相談が出来ます。
- 事前予約制になっておりますので下記へお申し込みください。

県支部協

024-534-1144

地区協だより

地域との交流

相馬地区協議会

副会長 工藤 晴弘



山上「憩いの家」でボッチャを楽しむ

退職、暫くすると、毎日何しているのと自治会の役員から声をかけられて、自治会のお手伝いを依頼され、自治会の仕事をする事になりました。特に東日本大震災に見舞われ、小学校の体育館が地域の避難所になったとき、大きな白板に地域ごとに避難者の記入をお願いし、安否確認に役立てました。電気は幸い通電しておりましたが、断水でトイレの水はプールからバケツリレーで対応、女性

の協力で学校の理科室を借りて炊き出し、被災はしているが、力を合わせてやり遂げる嬉しさかみしめました。

今年、戦後八十年、私は十八年生まれ、父を戦争で亡くし父の顔は写真のみです。

母が戦没者遺族会（相馬市戦没者千七十二名）の仕事をしておりまして母の亡きあとを受け継ぎ、市の遺族会の仕事をしております。当時の奥様方も百歳を超え、その息子、娘さんが遺族会の仕事を引き継いでおります。

また、現職時代から続けているものに、プルタブの収集があります。過去にプルタブを集めて車椅子を購入し、市の福祉課に寄贈しました。

老人会と言うとなかなか入会する方が少なく、会員募集を自治会の回覧で呼びかけても返事なしの状態、やれば楽しいのですがね。



沢山集められたプルタブ

自治会退任後、地区老人会の会長が高齢で引き継ぎを依頼され、今は月一回の例会で地元老人を憩いの家に引率し、入浴、カラオケ、骨太健康体操、ボッチャなど楽しんでいきます。



そんな折、労組新聞記事に環境公害防止連絡協議会でプルタブ回収運動参加者募集の記載を見つけ、相馬のN.T.T退職者の会会長、会員数名の協力をいただき続けています。地域の協力者から「プルタブのおじさん」と呼ばれる方も出てきました。これも交流の一つとして続けていきたいです。

日帰り温泉懇親会に参加して

白河地区協議会

青木 清



しばらく振りの再会に話が弾む（筆者左端）

参加者の二十九名の中には、以前同じ職場だった大先輩の顔もあり、三十数年ぶりの再会でした。が、お元気な姿に感激しました。

四月九日、石川町八幡屋において温泉入浴と昼食会の親睦会を行いました。

私は今年三月に退職し、退職者の会に入会して初めての行事参加になりました。



リフレッシュできた懇親会（筆者は最前列左から2番目）

また、元白河局で働いていた方々とも会うことができ、懐かしかったです。

在職時は休みを取っても、温泉などで体を休めることがなかったのが、参加することに戸惑いましたが、新入社員気分ですし込んだ結果、ゆったりと温泉に浸かり、美味しい食事と酒を飲みながらの歓談で、のんびりとリフレッシュすることができました。

今後、色々な行事が企画されると思いますが、できるだけ参加させていただき、今回参加できなかった先輩方との再会を楽しみにしたいと思います。

出来る事から
やっつけていこう

二本松地区協議会

事務局長 渡邊 研一

この三年間、コロナ禍ということ
で、活動の自粛・延期等を強いられ
てきましたが、漸く今年度総会から
活動を本格化していくことに致しま
した。

例年行事として

- ・ハイキング
- ・グランドゴルフま
たはパークゴルフ
(両方とも?)



・新入会員歓迎会
等を予定しておりますが、年々、会
員の高齢化等もあり、集合が困難に
なってきました。

役員の交代等もあり、なかなかエ
ンジンのかからない状態といったほ
うが良いのかもしれませんが、出来
る事からやっつけていこうと決めており
ます。

ハイキング等は毎年春の花が咲く
時期を選んで実施していましたが、
予定を立てる前にかんがりの猛暑に見
舞われ、動きにくくなっていました。

更にこの秋には、二本松市とも協
議のうえ、霞ヶ城周辺のゴミ拾いや
落ち葉掃きなども計画しています。

少しずつでも前に進んでいけるよ
うに、工夫しながら活動していきた
いと計画しております。

我が家の家族

〔ペット編〕

わが家の「小雪」
こゆき

会津地区協議会 佐藤 一朗

「ただいまー」と帰ると「お帰り！」
と言わんばかりに小雪が出てくる。
まったくかわいい。そもそも小雪が
わが家に来たのは十三年前の十二月
だ。生まれは静岡県だが、出会いは
近所のペットショップだった。
菩提寺の若奥さんの紹介で出かけ
た店が運命の場所だった。出会った
瞬間ピピッと電気が走り、共同生活
が始まった。



毎日の散歩が楽しみの小雪



沢山の愛情を受けて
元気に暮らす小雪

小雪も我々夫婦も勝手がわからず、
戸惑ったのがなつかしい。それでも
冬だったので、薪ストーブの周りに
ゲージを利用して防護柵を作ったり、
犬走りにもゲージで柵を作ったりと、
楽しい思い出が山盛りだ。血統書付
きの白柴犬のメスで真つ白だったが、
シニア犬になったら茶色がかってき
た。

朝と夕方と一日二回散歩している
が、途中で会う人に「別の犬にした
の?」と聞かれたのには参った。

最近同居する二人の孫とも仲良
くなったようだ。しかし、二歳にな
る下の子はまだ少し怖いらしい。私
たち夫婦も七十歳を過ぎ体力も衰え
てきたが、小雪共々もう少し頑張ろ
うと話をしている。子は「かすがい」
と言うが、我が家は小雪が「かすが
い」だ。最近少々太めになってきた
ようだが、お互いもう少し元気とい
ような、小雪。

新規加入者紹介

〔2024年7月1日〜

2025年6月30日〕

よろしく願います

地区協	氏 名	地区協	氏 名	地区協	氏 名	地区協	氏 名
福 島	秋田みわ子	福 島	佐藤 典幸	須賀川	熊田 洋文	会 津	渡部 隆子
福 島	阿部 文男	福 島	佐藤日出子	白 河	青木 清	いわき	青木 啓之
福 島	安藤 宏	福 島	佐藤 昌信	白 河	鈴木富士子	いわき	菅野 真二
福 島	加藤 清	福 島	福島 静子	白 河	本柳 浩明	いわき	木村 紘子
福 島	北 邦夫	福 島	吉田千恵子	三 春	前田河澄子	いわき	合津満喜子
福 島	日下 広幸	郡 山	関澤 一男	会 津	唐橋 保子	いわき	塩井 幸喜
福 島	齋藤 利男	郡 山	橋本 良一	会 津	長澤 千穂	南相馬	齋藤 文正
福 島	齋藤 洋子	郡 山	宗像 義徳	会 津	山内 和彦	【敬称省略】	

転入・転出会員紹介

和知 秀明 (宮城支部協から福島地区協に転入 2025年4月22日)
斎藤美都利 (郡山地区協から三春地区協に転入 2024年9月12日)

これまでの退職者の会に対するご協力に感謝申し上げ 慎んでご冥福をお祈り申し上げます



地区協	氏 名	死亡年月日	年齢	地区協	氏 名	死亡年月日	年齢
福 島	秋田 紘行	2025. 5. 23	80歳	石 川	加藤 祥子	2024. 7. 15	88歳
福 島	秋山 剛	2025. 2. 27	97歳	三 春	桑原マサ子	2024. 10. 13	90歳
福 島	阿部マツエ	2024. 12. 27	94歳	三 春	星野 昌二	2024. 7. 27	92歳
福 島	五十嵐文男	2024. 11. 10	77歳	三 春	前田河 均	2024. 9. 3	73歳
福 島	遠藤 孝祐	2025. 4. 25	70歳	会 津	秋山喜久世	2024. 7. 26	78歳
福 島	大槻トキ子	2025. 3. 14	89歳	会 津	大堀 鉄雄	2024. 10. 1	92歳
福 島	斎藤 堅治	2025. 2. 1	78歳	会 津	岡村 和夫	2024. 8. 27	71歳
福 島	斎藤 幸子	2025. 4. 5	87歳	会 津	唐橋 勝衛	2025. 1. 12	77歳
福 島	佐藤 英雄	2024. 10. 11	94歳	会 津	栗田 司朗	2024. 8. 16	80歳
福 島	佐藤 勇三	2024. 7. 30	93歳	会 津	澤崎 正子	2025. 1. 4	92歳
福 島	鈴木 国香	2025. 4. 20	71歳	会 津	斎藤 慶子	2025. 5. 14	92歳
福 島	福島 昭七	2024. 11. 6	93歳	会 津	鈴木 和子	2025. 3. 3	93歳
福 島	宮口 弘子	2024. 10. 27	89歳	会 津	鈴木キイ子	2024. 11. 25	89歳
福 島	吉田 喜美	2024. 12. 18	76歳	会 津	鈴木吉士子	2024. 11. 9	90歳
福 島	渡辺 忠	2024. 8. 28	82歳	会 津	田中 喜作	2025. 2. 26	95歳
福 島	渡辺マサ子	2024. 8. 14	89歳	会 津	中村 政子	2025. 4. 28	95歳
二本松	泉田 五郎	2025. 2. 19	92歳	会 津	奈須 當子	2025. 1. 4	92歳
二本松	佐藤 喜義	2024. 7. 4	77歳	会 津	蓮沼 友子	2024. 10. 27	92歳
二本松	鈴木 史子	2025. 2. 24	76歳	会 津	皆川 良子	2025. 2. 16	93歳
郡 山	伊藤 正策	2024. 9. 1	67歳	会 津	半野 悦子	2024. 9. 8	86歳
郡 山	熊田 竹子	2025. 6. 9	89歳	会 津	山内美代子	2024. 9. 7	91歳
郡 山	曾我 光正	2025. 1. 21	79歳	会 津	渡部 優喜	2025. 3. 4	78歳
郡 山	高橋 昇	2025. 6. 26	80歳	いわき	池田嘉津美	2025. 1. 26	100歳
郡 山	玉木 秀雄	2024. 10. 31	80歳	いわき	宇野沢保子	2024. 7. 12	86歳
郡 山	中川 良	2024. 12. 6	77歳	いわき	大谷 幸雄	2024. 8. 6	92歳
郡 山	長嶋 秀雄	2024. 9. 20	85歳	いわき	片寄恵美子	2024. 12. 24	82歳
郡 山	藤谷 麗子	2024. 12. 6	91歳	いわき	木村 博信	2024. 8. 1	86歳
郡 山	藤橋 洋子	2025. 6. 20	92歳	いわき	桐原 武	2025. 3. 8	93歳
郡 山	宗形 和代	2025. 4. 3	80歳	いわき	白土 俊江	2025. 2. 13	79歳
郡 山	矢吹 一郎	2025. 3. 19	81歳	いわき	永山 洋一	2024. 10. 26	76歳
郡 山	山田 敏子	2024. 8. 15	91歳	いわき	長谷川ヤス子	2024. 7. 16	94歳
郡 山	吉田 重夫	2024. 4. 15	89歳	南相馬	菅野 秀一	2025. 2. 8	83歳
郡 山	渡部 衣子	2025. 1. 28	86歳	南相馬	斎藤 幸子	2025. 1. 3	83歳
白 河	大谷 吉男	2025. 1. 13	94歳	南相馬	清水 桂子	2024. 9. 23	93歳
白 河	斉藤 武之	2025. 1. 9	80歳	南相馬	門馬イネ子	2025. 2. 28	78歳
白 河	三本木邦男	2025. 6. 5	80歳	相 馬	高玉 厚生	2025. 2. 16	85歳
白 河	鈴木 武宏	2025. 4. 4	67歳	【2024年7月1日から2025年6月30日】			